

Q 道の駅の雇用問題、宿泊設備の計画は怎么样了なっているか

A 取締役会で具体的に組織の全体像や経営方針などを検討する



佐藤定男議員

用する人数は何人か。募集時期はいつになるか。

まちづくり交流課長 雇用計画では正社員

問 道の駅運営の現場責任者である総支配人の人選はどうなっているか、現在の状況を伺う。

町長 総支配人は単にまちづくり会社の運営だけでなく町の行政施策、歴史・文化などを十分理解し、

町民と良好な関係を維持できる人物を求めている。候補者は町職員、外部登用など広いエリアから選定したい。取締役会などの審議を経て28年度の適切な時期に決定したい。

問 従業員について、最終的に雇

まちづくり交流課長 バス・トイレ、洗面所、押入れ等を含め約10坪ほどの部屋が4室、そして同じ設備を備える2室に区切るこ

とができる20坪ほどの部屋が1室という構成である。10坪の4室は1人でも利用可能な4人部屋としている。広間を含めて余裕をもった場合の人数でトータル20人程度の宿泊が可能である。

問 部屋の様式、お風呂はどのようなものになるか。

まちづくり交流課長 すべての部屋を洋式仕様に考えている。お風呂は4人部屋、大広間ともにトイレ・洗面所を別室とするユニットバス方式を採用したい。

問 道の駅の宿泊設備についてお聞きしたい。まず、宿泊人数は何人くらい可能なのか。

問 宴会を開けるようなスペースはあるか。あるとしたら収容人数はどのくらいか。

まちづくり交流課長 宴会使用については研修室、大広間、カフェを充てることにしている。研修室は3つの部屋に、大広間は2つに区切ることができる。計画では10人から80人程度まで収容可能とみている。カフェについ

くにももたん キャラクターの商品化は

問 道の駅の活発な商業活動のため、くにももたんのキャラクターグッズを販売する計画はないか。

町長 実際、道の駅出荷組合のある会員からぜひグッズにしたというお話もある。まちづくり会社としても素晴らしいキャラクターであり道の駅は絶好のチャンスだと思っっている。3月の検討会で議題とした



道の駅プレパーティーでは6次化商品も披露された

い。

Q 平成28年度の高齢者向けの 新規事業の予定は

A 介護予防事業として「通いの場」を 立ち上げたい

問 高齢者向けの事業、いきいきサロンと生きがいデイサービス事業の成果と、平成28年度の新規事業の予定を伺う。

人、協力者86人である。生きがいデイサービス事業は、月3回程度日帰りで、利用者は1月末で52人が5班に分かれての活動をしている。

町長 いきいきサロン事業は、月1回2時間程度で、1月末の実利用者は386

平成28年度の新規事業は、介護予防事業として運動中心の「通いの場」の立ち上げを5

運動に特化して健康維持、介護予防に対応していく。

問

どの既存事業も体操中心でマナー化の心配がある。

シヨンシヨールなど、笑いかから元気になるような突飛な企画も必要ではないかと思うがいかがか。

問

認知症とともに暮らす社会へ向け、町として高福祉のまちを目指している

が、認知症への具体的な対応策について伺う。

保健福祉課長

「認知症サポーター」を養成する講座を継続して開催し、認知

症の理解を図るための普及・啓発をしている。このほか、昨年度から認知症高齢者を抱える家族に対しての家族介護教室の開催や、今年度の新規事業で徘徊高齢者位置情報端末での見守り対策事業などを行っている。

問

認知症サポーターの小中学校への出前講座など、町独自の効果的な対応策になると思うがいかがか。

保健福祉課長

子どもから大人まで、そしてお年寄り同士でも認知症を見守る体制づくりはこれから大事になる。今後の認知症対策に参考としたい。



松浦和子議員

問

新規事業と既存事業の違いについて伺う。

町長

既存事業は生活のフォロー、新規事業の通いの場は元気老人対策である。運動指導士の指導で、

町長

いきいきサロンなどの既存事業のパターンの中で対応にいかに対応にアクセントを付けられるかと思う。十分意を踏まえて対応したい。



いきいきサロンを通しますます元気